

# 市議会だより

発行2008年12月4日

日本共産党和歌山市会議員団

073-435-1113

FAX 421-4181

## 12月定例市議会が開会

12月定例市議会は、2日から22日まで、21日間の会期で開会。市は、受給者増加による特別障害者手当等給付費1590万円、直川地区排水施設の設置負担金1億70万円などが計上された、総額2億4994万円の一般会計補正予算案を提案しました。

市は、直営の四季の里公園、アートキューブ、和歌山城天守閣など新たに5施設を、また更新を含めて43施設を指定管理者とする条例改定を提案。これにより、3年契約で5971万円の財政削減の効果を図るとしています。他に、財政健全化の一環として、発明館を閉館し、社会福祉会館の貸し館業務も廃止する条例案が提案されています。

市議団は、各議案の審議とともに、4日からの一般質問で、市民の生活と営業を守るための景気対策、国保制度における「無保険」の子どもを解消すること、財政運営における不公正な同和事業の終結、公営住宅の家賃改定問題などについてとりあげる予定です。

### 日程

2日(火)  
4日～11日(木)  
8日(月)  
12日～16日(火)  
17日・18日(木)  
22日(月)

本会議、議案説明  
一般質問  
請願受理期限、午後5時15分  
常任委員会  
特別委員会  
本会議・委員長報告、討論、採決  
(07年度決算認定)

旧同和事業・貸付金など  
回収はどうなる？

3市5町で旧同和对策・住宅貸付金など  
「回収管理組合」設立へ条例提案！

和歌山市は、御坊市、新宮市、湯浅町などの3市5町で、旧同和对策事業の住宅新築、改修費、土地購入の貸付金の債権（和歌山市は約14億円）を回収する目的で「組合」設立の条例を提案（来年度実施）。

和歌山市議会のチェック機能は無くなるのではないかと、組合体制が小さく機能しないのではないかと、組合が御坊に置かれることによって和歌山市の対策が弱まるのではないかと、問題のある条例案が提案されています。

## 本日、4日(木)2番目に登壇



大くさ主馬市議

金融不安や原油高騰などから、市民生活と営業・雇用を守るため、市の対策を求め市長や当局に質問します。